

2025（令和7）年4月～6月 活動報告

天塩町地域おこし協力隊（学芸員） 前川 康生

≪自己紹介・活動方針≫

4月から天塩町地域おこし協力隊として活動をしております、岩手県釜石市出身の前川康生（まえかわ・こうせい）と申します。直近は埼玉県の外食企業で働いていました。学芸員として働く事が夢であり、このような機会を作ってくれた天塩町には感謝しかありません。3年の期限付きではありますが、一生懸命頑張らせていただきます。町民の皆様、よろしくお願い致します。また、野球をしていた事もあり、自治労と豪球会の野球チームに所属しています。野球繋がりでも、どんどん縁を広げていけたらと思います。グラウンド開きには軽い肉離れを起こしてしまい、当日参加した皆様にはご心配をおかけしました。

改めまして、地域おこし協力隊としてどのような事をしている、していくかというところを

- ・町の歴史・自然に関する調査
 - ・資料の整理・分類・デジタルアーカイブ化
 - ・天塩川歴史資料館の展示内容を変えていく、企画展の実施
 - ・町史編纂にかかる活動
- などが活動内容です。

〔4月〕

4月は、着任したばかりなので、まずは天塩町を知る事から始まりました。町史や新聞スクラップ集などを調べて過去に何があったのか勉強していました。また、自分がこれから行っていく業務の確認や、資料館の現状の把握、学芸員としての近隣の学芸員や大学の先生など、これからの活動に力となってくれる方々との人脈形成を主に行っていました。

〔5月〕

5月からは、もう一人の地域おこし協力隊員（学芸員）が着任し、5月からは2人体制で業務を行っていきます。

ゴールデンウィークを迎える前に、来館者アンケートの設置を行い、QRコードと、紙の2種類を用意しました。設置した理由としては、これからの資料館をより良くしていくために、来館者から意見や感想を集め、運営の改善に役立てていくためです。

14日は天塩小学校の4年生が総合学習の一環として、天塩川歴史資料館を訪れました。ここでは、小学校がどのように歴史資料館で授業をしているのか知りたかったので、見学と小学生に何か聞かれたら答えてあげるという形で対応しました。ここでの小学生の反応を見ただけで、子供達が楽しめる資料館について考えることができた良い機会だったと思います。

16日には天塩町公認インフルエンサーである、「友成 純」さんが来館し、展示解説をしました。着任してから初めて、資料館における本格的な展示解説だったため、とても緊張しましたが、なんとか解説を終えることができ良かったです。



同日、留萌管内地域おこし協力隊ネットワークの総会にオンラインで参加しました。活動目的や、これからの活動予定などの説明を聞き、本格的に他地域の地域おこし協力隊とも交流を深めていくためにも、積極的に参加していきたいと思いました。

22日は、「鈴木 直道」北海道知事が来館しました。短い時間でしたが展示解説をさせていただき、その後の懇談会の中では、現在、自分達が何を行っているのかなどのお話をさせていただきました。着任して間もない中で、知事と関わる機会があるとは思わなかったのも、とても貴重な体験でした。



28日には、「宗谷管内学芸職員連絡協議会 総会・研修会」にオブザーバーとして参加するため稚内に行きました。礼文、稚内、利尻、枝幸の学芸員が集まり、それぞれの活動報告と今年度の計画についての発表を知ることが出来ました。他管内ではありましたが、親身に接していただき、相談したい事、現在の状況についての助言を貰いました。

29日は「稼ぐまちづくりセミナー」という、地域おこし協力隊員の起業に関するセミナーにオンラインで参加しました。私としては、地域おこし協力隊として活動を終えた後、起業は予定していませんが、そういった選択肢もあるのだという勉強になりました。

30日は地域おこし協力隊初任者研修に参加するため、札幌に出張しました。全道から対面・オンラインで、活動して間もない隊員が主に参加していました。地域おこし協力隊の制度の説明や、活動例の報告が前半は行われ、後半は対面参加者による活動で、地域から応援されるためには何をすれば良いのかという内容で話し合いをしました。様々な地域の隊員と交流でき、困っている事や何をしているのか等、情報共有を沢山することが出来ました。



31 日は北海道大学総合博物館で北海道考古学会研究大会に参加しました。私の専門は史学なので考古学の総会に参加するのはとても新鮮でした。各地域の博物館の考古学分野における研究成果の報告を聞きました。その後の懇親会では、今回の総会に参加した方々にご挨拶することができ、その中には天塩町と縁のある方が多くいました。

〔6 月〕

6 月 2 日には、姉妹都市ホーマー市青少年訪問団が資料館を訪れ、対応のために展示解説をしました。特に長門船やアイヌ関係、テシオコクジラに興味を持たれて、沢山質問をしてくださいました。夜には会食と歓迎レセプションが行われ、私は英語が喋れないため、スマートフォンの翻訳機能で会話をしました。



12 日は天塩高校に行き、「総合的な探究の時間」の取り組みの一環である、天塩高校生の天塩スカイライトフェスティバル（天塩川しじみまつり 1 日目）の企画についてどのような事しているか見学をしました。しじみ祭りまで約 1 か月という中で、生徒がどのような計画で、主体的に取り組んでいるのか知る機会となりました。

17 日は、上川北部・留萌地方博物館資料館研修会に参加しました。内容としては近隣の博物館・資料館に勤務する人が集まり、それぞれの資料整理の方法を共有するものです。資料整理に関して、天塩川歴史資料館では大きな問題の一つとなっており、今回の研修を通して、資料整理について相談し、アドバイスを頂きました。

30 日には天塩町公式インフルエンサーである「しろまる あすか」さんが取材のために来館しました。そこでは「道みんなの日」に資料館で行うイベントのデモ体験として、音声ガイドとガイドツアーを体験してもらい、後日 SNS にて紹介させて頂く事になりました。

野球に関しては、自治労では肉離れでベンチにいるしかなく、豪球会では試合に出させて貰っても活躍することが出来ず、力になれず申し訳なかったと思います。4 年以上のブランクは中々埋まるものではないと思い知らされました。また自衛隊との交流試合、その後の交流会にも参加したり、野球をする事で色んな人と繋がりを持てたことがとても嬉しかったです。



以上が活動報告となります。

今後の予定としては、「道みんなの日（7/17）」に合わせて7月16日～18日の3日間にイベントの開催、夏休みに向けた別のイベント、町史作成に関わる業務などを想定しています。他にも色々とする事、したい事は山ほどありますが、私達、地域おこし協力隊としてできることから着実に業務をこなしていけたらと思います。

今後とも地域おこし協力隊をよろしくお願い致します。